

区分	部門	漆	彩色	剥落止め	単色塗	銹・金具	
1年目	共通座学研修	<b>安全・行政・歴史</b>					
		① 技能者認定制度・文化財行政の仕組み・文化財保護の歴史					
		② 新規雇入時教育					
	部門別研修		<b>漆研修 (社美協研修)</b>	<b>彩色研修</b>	<b>剥落止め研修</b>	<b>単色塗研修</b>	<b>金具研修</b>
			刃物の研ぎを行い木篋・竹篋を作製し刻字漆を飼い込む	修復作業工程の概要、材料、用具類の基本的な扱い方、下塗用顔料の割合と塗布	文化財保存修理(剥落止め)を理解する(そのために建築彩色・塗装を学習)	養生及び揺らし・木地固め・実習(社美協模型使用)	銹金具の基礎知識1 銹金具における歴史と意匠の変容
		①	古研ぎ・叩落し・工具調整	作業工程概要、材料・用具等の取扱い、顔料割合	保存修理とは(文化財修理の根幹である剥落止めの説明)	養生(飛散防止等)	銹金具概論 銹金具の歴史(古代～現代①)
		②	木篋及竹篋作成	膠の溶かし方、丹具の解き方(団子・百叩き・溶解・塗布)、塗布	材料・用具について説明、剥落止め主要材料となる膠について学習	掻き落とし 前跑・保護具の使用法	銹金具の歴史(古代～現代②) 地域による意匠の変容と特色
		③	生固め調合及び作業・刻字調合及び刻字飼い込み	下塗胡粉の溶き方(団子、百叩き、溶解、塗布) 下塗絵具の溶き方(溶解、塗布)	膠の様々な濃度の確認、吸込み止めとしての髹水引きの説明 胡粉を溶いて手板に塗布する(髹水引きの有無の検証)	髹水引き、捨て膠、刻字飼い	痕跡から見る各種技法の検証、補修及び新調時の注意点
		①		<b>彩色研修</b> 建築彩色を知る 材料、用具類の基本的な扱い、胡粉について知る			
	②		建築彩色とは(座学) 材料・用具等取り扱い(座学)				
③		美術史概論(座学) 胡粉製造所見学					
			白色顔料について 白色顔料各種塗比べ実習				
*【部門共通】フルハーネス安全帯使用作業(特別講習)							
2年目	共通座学研修	<b>技法・材料</b>					
		① 材料概論I(古典的材料について:顔料・染料・漆・膠・布海苔)					
	部門別研修		<b>漆研修</b>	<b>彩色研修</b>	<b>剥落止め研修</b>	<b>単色塗研修</b>	<b>金具研修</b>
			下地材を調合し、下地付けを行い、麻布を載せ表漆で麻布を着せる	簡単な縹網文様の模写及び見取図、型紙を作製し型押し	接着剤としての膠の学習と実施	胡粉下塗り・丹下塗り・黄土下塗り 実習(社美協模型使用)	銹金具の基礎知識2 素材ごとの特徴 工具・火器・薬品・各材料の適切な扱い方 現場作業時の適切な動き方
		①	地の粉下地調合及び地の粉下地付け	文様の現状見取り、型取り、清書図の作製	塗装概論、材料・用具について説明	下塗り用材料調合 丹 胡粉 黄土	銹金具における文化財修復実務 銹金具に用いられる素材(種類・特性・扱い方)
		②	布載ち・表漆調合及び布着せ	白描、型紙の作製・型押し	膠の作り方(昔と現代) 様々な接着剤の説明	胡粉下塗り	安全・衛生実務(工具・火器・薬品等の扱い方・注意点) 鑿について(素材の特性、加工、扱い方)
		③		見取図の作製	手板に塗り実習を行いながら、なぜ彩色塗膜が剥離・剥落するか検証	丹・黄土下塗り	
		①		<b>彩色研修</b> 材料について知る、材料を大切に扱うことを体験する			
	②		美術史概論(座学) 材料について 見学(金箔、和紙、筆)				
3年目	共通座学研修	<b>技法・材料</b>					
		① 材料概論II					
		② 建築史概論I					
	部門別研修		<b>漆研修</b>	<b>彩色研修</b>	<b>剥落止め研修</b>	<b>単色塗研修</b>	<b>金具研修</b>
			全ての下地材を調合し、木篋で下地付けを行う	金箔・金泥の扱い方	絵具となる顔料と接着剤(膠ほか)の学習と実施	胡粉上塗り・丹上塗り・黄土上塗り 実習(社美協模型使用)	銹金具の基礎知識3 作図 設計図の製作
		①	地粉下地調合及び地粉下地付け	手板作製(箔押し用3枚、金泥用4枚)、箔押し作製	文化財指定の現状、材料・用具について説明	上塗り用材料調合 丹 胡粉 黄土	銹金具の意匠について 拓本・作図・設計図の事例・製作方法
		②	切粉下地調合及び切粉下地付け	金箔取り扱い	様々な濃度の膠水と様々な粒度の顔料を溶き合わせ手板に塗り検証と確認	胡粉上塗り	拓本・作図・設計図の製作
		③	切粉下地水研及び切粉固め	金泥取り扱い	白黒系・黄色系・緑色系顔料(胡粉・松煙・黄土・緑青)手板に塗り実習	丹・黄土上塗り	
		④	錆下地調合及び錆下地付け				
	①		<b>彩色研修</b> 彩色技能者として基本的な技術の確認、斗組の縹網彩色制作				
②		型紙作成・胡粉叩き・型摺り					
③		薄色 岩掛け・括り 評価あり(技術の確認を行う)					
4年目	共通座学研修	<b>安全・行政・歴史</b>					
		① 文化財補助事業の概要					
		② 建築史概論II					
	部門別研修		<b>漆研修</b>	<b>彩色研修</b>	<b>剥落止め研修</b>	<b>単色塗研修</b>	<b>金具研修</b>
			錆下地付を水研し、中塗漆を漆刷毛で塗る	(漆作業の溜、連続した日程が組めない)紙着せ・切粉漆下地・下塗り丹具等の実習を行い、漆下地の特徴をつかむ	建築塗装(簡易彩色文様)の学習と実施	各種顔料ほか	素材・部位に見る銹金具1 平物金具
		①	錆下地水研及び錆固め	紙着せ	建造物装飾技法史(例を挙げて学習)	赤色顔料についての検討・調合・塗装	平物金具の種類・地域別具体例 平物金具に用いられる素材及び特性 施工事例を基にした補修・製作の流れ
		②	黒中1回目塗及び繕い下地付け	切粉漆下地付け	膠を溶き、手板に胡粉を塗り簡易な彩色施工を学ぶ(転写、型摺り)	岩絵具についての検討・調合・塗装	加工実習(切断、切削、研磨等)に関わる工具を用いた実習)
		③		下塗り丹具・箔下丹具	彩色が剥離剥落劣化を起こす条件を考察し不具合彩色を製作し検証	チャン塗(油塗) 柿渋塗	
		①		<b>彩色研修</b> 現場作業の安全な作業空間の作り方			
	②		養生実習・掻き落とし実習				
③		表打ち実習(布海苔抽出を含む) 彩色のある建築史(座学) 現場見学					
5年目	共通座学研修	<b>安全・行政・歴史</b>					
		① 塗装概論(塗装の役割・漆の硬化の仕組み)					
		② 塗装技術史					
	部門別研修		<b>漆研修</b>	<b>彩色研修</b>	<b>剥落止め研修</b>	<b>単色塗研修</b>	<b>金具研修</b>
			1回目中塗を水研ぎし、2回目中塗・中塗水研ぎ後上塗を漆刷毛で塗る	金箔の扱い方及び下色から仕上げ色の扱い方を理解し、着彩の実習を行う	建築彩色塗装のメカニズム学習と保存修理実施	施工上の諸問題について	素材・部位に見る銹金具2 立体金具
		①	中塗1回目水研ぎ	下塗り・箔押し	塗装関係法規概論・安全衛生理論(現場作業を意識して学習)	施工完了後の不具合について事例紹介	立体金具の種類・地域別具体例 各種製作技法(鍛造・絞り・打ち出し等)の特性 施工事例を基にした補修・製作の流れ
		②	中塗2回目塗り	箔押し・着彩	文化財指定装飾の現状・現場作業での注意点・養生作業の学習(施工現場養生)	対応策について検討及びディスカッション	鍛造の基礎知識
		③	中塗り2回目水研ぎ及び黒上塗り	着彩	布海苔抽出液作製実習・表打ち養生実習(作品養生)	メンテナンス事例紹介	立体金具の製作に伴う工具の扱い方 各種溶接方法及び火器の扱い方 加工実習(各種溶接、鑿・鉛・松脂等工具を用いた実習)
		①		<b>彩色研修</b> 垂直面への置き上げ彩色			
	②		胡粉塗り・型摺り				
③		箔押し・着彩 着彩					

区分	部門	漆	彩色	剥落止め	単色塗	金具	
6年目	共通 座学 研修	<b>安全・行政</b>					
		① 塗装関係法規					
		②					有機溶剤作業、鉛作業主任者講習
	部門 別 研修	<b>漆研修</b> 拭き漆研修 手板（5種類）に古色、目止め等素地調整を施した後に拭き漆を3回施す	<b>彩色研修</b> 伝統技法への探求、腐れ胡粉と腐れ丹具を作る	<b>剥落止め研修</b> 建築彩色塗装の剥離・剥落はなぜ起こるのか検証と実施		<b>金具研修</b> 素材・部位に見る銹金具3 鉄金具	
		① ガイダンス・素地調整・目止め（渋引・赤渋引・黒渋引・砥粉引・錆付）・拭き漆1回目	伝統技法の習得 丹青指南を読む	剥落止め序論・文化財装飾の現状・板状剥離模擬劣化彩色体調製実習		鉄の基礎知識（素材としての性質、加工方法・器具の扱い方、安全対策） 表装方法（着色・各種塗装剤と防錆効果） 鉄金具維持管理について	
	② 素地調整（あらし、錆研ぎ）・拭き漆1回目、2回目	腐れ胡粉の作製	取扱概論（保存と活用） 漆概論、漆塗りの損傷の諸相		加工実習		
	③ 拭き漆2回目・3回目 *現場見学：実際の修理現場（拭き漆施工のある京都周辺の物件）に行き、担当者の説明を聞く	腐れ丹具の作製 *腐れ胡粉は、8年目に曝露試験用の手板で使用、9・10年目に経過観察を行う	板状剥離劣化塗膜剥落止め実習・膠の品質と物性		着色実習		
	④ 仕上げ磨き（油・呂色粉） 講習会						
*【部門共通】有機溶剤作業主任者・鉛作業主任者講習							
7年目	部門 別 研修	<b>漆研修</b> 漆箔押し研修 手板（塗立・胴摺の2種）と彫り物1体に箔あかしをした金箔を2回押しす さらに漆にて箔養生する	<b>彩色研修</b> 彩色文化の東西の違いを感じる 京都の職人と日光の職人が絵具を入替え、見取図を描く。関東の技法と関西の技法、関東の絵具と関西の絵具の違いを知る	<b>剥落止め研修</b> 建築彩色塗装の劣化（経年及びカビ等環境検証）		<b>金具研修</b> 素材・部位に見る銹金具4 着色・色上げ	
		① ガイダンス・箔箸等道具の手入れ・箔あかし・箔押し1回目	絵具、技法の地域性を学ぶ	彩色技法概論、彩色の損傷の諸相、粉状剥離模擬劣化彩色体調製実習		施工事例から見る銹金具の色上げ法 痕跡から見る表装技法検証 銹金具の表装に使用する水銀・硝酸・硫化カリ等劇毒物の特性（扱い方・作業時の環境作り）	
		② 箔払い、箔押し2回目 *現場見学：実際の修理現場（箔押し施工のある関東方面の物件）に行き、担当者の説明を聞く	関東の技能者が京都の絵具で見取図作成、関西の技能者が関東の絵具を使って見取図作成	日本絵画史概論・事例研究		加工実習（水銀鍍金）	
		③ 生漆にて箔養生をする 講習会	# 双方の見取図の検証（見取図の図柄や配色は全て同じとする。霊獣と植物もしくは波など、2つの組み合わせが望ましい）	粉状剥離劣化塗膜剥落止め実習、混色・重色概論、補彩実習		漆及び金箔の特性 加工実習（漆箔）	
8年目	部門 別 研修	<b>漆研修</b> 蠟色研修 【開催場所 関西】 手板（黒・朱2種類の平面の手板と曲面の手板計4枚）の蠟色磨きをする	<b>彩色研修</b> 平彩色の完成度を上げる	<b>剥落止め研修</b> 剥落止めを考慮した建築彩色塗装の劣化を防ぐ方法と対策		<b>金具研修</b> 素材・部位に見る銹金具5 各種彫法	
		① ガイダンス・炭研ぎ・胴摺り・捨て摺り	型紙作成 連続文様彩色手板を立て、彩色を行う。（60cm×20cm）	金箔と金泥・多様な剥離模擬劣化彩色体調製実習		彫法の種類・地域別具体例 建造物の意匠と彫法の関係 各年代から見る彫法の変遷	
		② 胴摺り・摺り漆	# （6年目で作った腐れ胡粉を用いる）	接着と洗浄、洗浄実習		技法別に見る作業工程・使用工具 加工実習	
		③ 磨き・摺り漆 *現場見学（座学を兼ねる 実際の修理現場（蠟色施工のある京都周辺の物件）に行き、担当者の説明を聞く）		多様な剥離劣化塗膜剥落止め実習・養生実習（曲面表打ち）・洗浄実習			
	④ 仕上げ磨き、講習会（仕上りの検討）						
9年目	共通 座学 研修	<b>安全・行政、技法・材料</b>					
		① 保存と活用					
		② 保存科学材料（修理に用いられる科学的材料及び技法）					
部門 別 研修	<b>漆研修</b> 上塗り（黒・朱・溜塗・白檀塗）研修 【開催場所 関東】 手板（黒・朱・朱溜・白檀塗用の4種類の中塗りの手板に上塗りを施す	<b>彩色研修</b> 高度な現場作業への挑戦	<b>剥落止め研修</b> 文化財の在り方と保存修理を学習し活用を考える。		<b>金具研修</b> 日本における代表的な文化財建造物の補修方法～西日本～		
	① ガイダンス・中研ぎ・塗前・上塗り	文様の変遷について（座学） 生彩色 画題（唐草文様）社美協が有する模型の垂木間に彩色をする	剥落止めの沿革・修理のための合成樹脂、合成樹脂による剥落止め実習		施工事例を基にした文化財建造物の保存修復実地研修		
	② 講習会（仕上りの検討）、塗り直し	型摺り 文様の彩色（8年目で作った腐れ胡粉の経過観察）	修理哲学・合成樹脂除去実習		実地研修		
	③ 講習会（仕上りの検討） *座学（テーマ：設計協力時の初動検分の際の仕様検討について）（講師は社美協上級技能者から選任）		剥落止めの修理方針・写真撮影（記録）・損傷診断から修理仕様書作成				
10年目	共通 座学 研修	<b>安全・行政、技法・材料</b>					
		① 修理哲学					
		② 劣化について（カビ・紫外線・錆）					
		③ 写真撮影技法					
部門 別 研修	<b>漆研修</b> 掻き落とし研修 実際の建造物の劣化塗膜の検分及び仕様検討後、掻き落とし・古研ぎをする	<b>彩色研修</b> 文様復元への取り組み	<b>剥落止め研修</b> 近年の修理技術の動向（化学分析等踏まえ）		<b>金具研修</b> 日本における代表的な文化財建造物の保存修復法～東日本～		
	① ガイダンス・仕様検討（調査の演習）	復元予想図の作製（関西の文様を選ぶ）、資料集め	文化財の保存と環境、害虫及びカビの防除法		施工事例を基にした文化財建造物の保存修復実地研修		
	② 掻き落とし・古研ぎ	復元図作製（8年目で作った腐れ胡粉の経過観察）	事例研究・膠と合成樹脂（その他、保存修理の可能性）		実地研修		
	③ *座学（テーマ：設計協力時の初動検分の際の仕様検討について）（講師は外部設計監理者から選任）	復元図作製（本や資料を参考に、インターネットを駆使しひとつの復元図を作り上げる）	文化財の化学分析、近年の修理技術動向				